

科目名	社会と情報		履修学年	第1学年	
			履修形態	必修	
			履修単位	2単位	
使用教科書 (出版社)	社会と情報 (東京書籍)				
使用教材 (出版社)	社会と情報学習ノート (東京書籍)				
学習の目標					
<p>情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。</p>					
教科担当者から					
<p>教科書を使用した学習だけでなく、たくさんの実習を行います。積極的に取り組みしっかり課題を提出してください。なお、実習については、成果だけではなく実習の過程における努力も評価します。</p>					
評価の観点・方法・割合					
観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
規準	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を生かすとともに情報モラルを踏まえ、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。	
方法	※ ◎は観点の中でより重視するところです。				
学習の状況の観察	◎				
課題の取り組み	○	○	◎		
レポート		◎	○	○	
提出物	○	◎		○	
定期考査		○	◎	◎	
割合	15%	20%	20%	45%	
評価の基準 ※ 満点を100点としたとき					
5	4	3	2	1	
100点～85点程度	84点～70点程度	69点～49点程度	48点～30点程度	30点程度未満	

学習内容								
学期	月	単元名／学習内容	学習のねらい	評価の観点				時間
				関	思	技	知	
前期	4	第1章 情報を活用する	身のまわりにある情報は、どのように作られ、伝達されていくのか。その基本的な仕組みについて知る。	○	○			12
		1節 私たちを取り巻く情報		○		○		
	5	2節 アナログからデジタルへ	互いに影響を及ぼし合いながら変化してきたコミュニケーションとネットワークについて学ぶ。	○		○		22
		3節 情報の表現と伝達		○		○		
	6	第2章 情報の活用と表現	互いに影響を及ぼし合いながら変化してきたコミュニケーションとネットワークについて学ぶ。					22
1節 インターネットの利用					○			
	前期中間考査				○	○		
	2節 ネットワークとコミュニケーション				○	○		
	7・8	ワープロ実習		○		○		
後期	9	第3章 情報社会の課題をみつける	社会の情報化に伴い、これまではなかった問題が生じている。問題が発生した理由と対処方法について考える。	○	○			10
		1節 情報科の影響と課題		○	○	○		
	9	〈言語活動〉情報モラルに関する意見交換	社会の情報化に伴い、これまではなかった問題が生じている。問題が発生した理由と対処方法について考える。					10
		前期期末考査				○	○	
		2節 法律と個人の責任				○	○	
10	表計算ソフト実習		情報社会を支えるシステムを知り、生活がどのように変わってきたかを考える。これまでの学びを基に、さまざまな問題を解決していく。	○		○		26
後期	11	第4章 望ましい情報社会に向かう	情報社会を支えるシステムを知り、生活がどのように変わってきたかを考える。これまでの学びを基に、さまざまな問題を解決していく。	○		○		26
		1節 社会における情報システム		○		○		
	12	後期中間考査				○	○	
		2節 情報システムと人間				○	○	
1	3節 情報社会と問題解決				○	○		
2	学年末考査							
3	パワーポイント実習			○		○		